

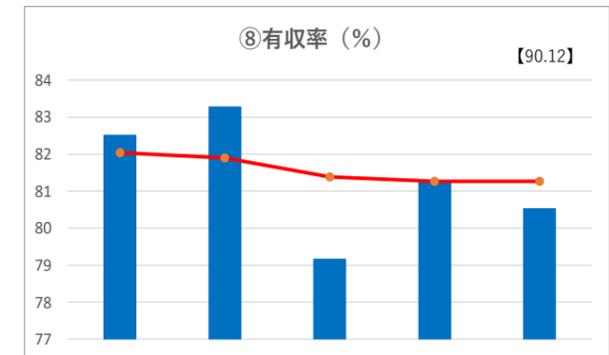
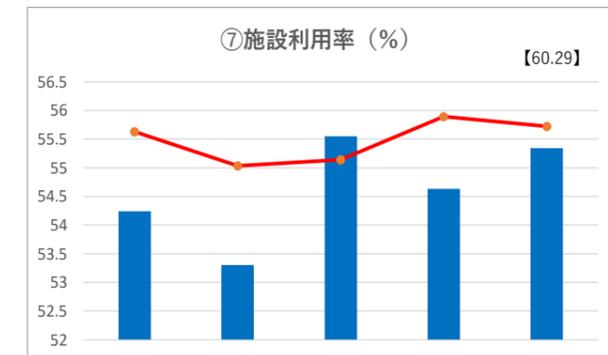
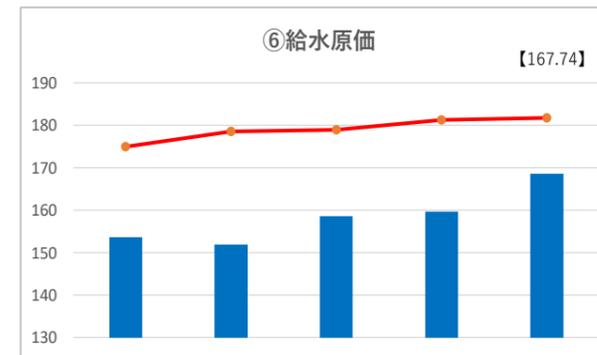
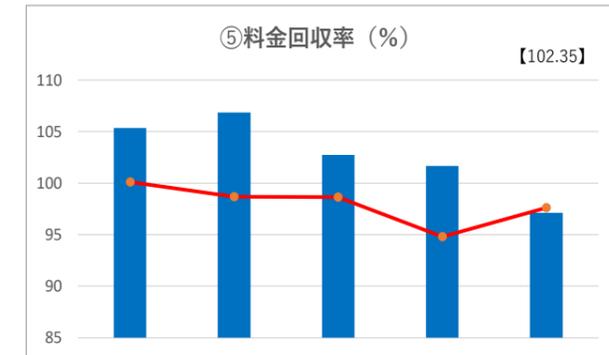
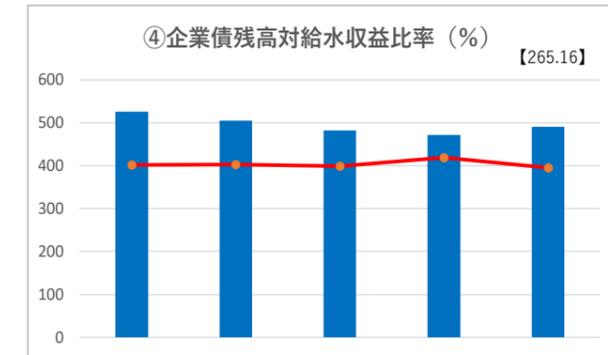
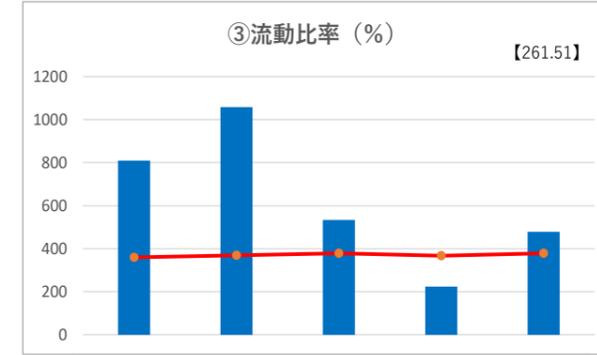
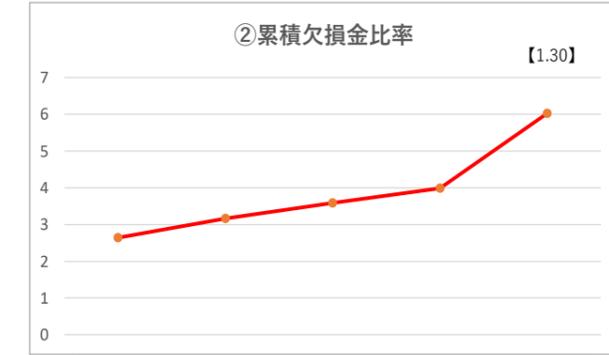
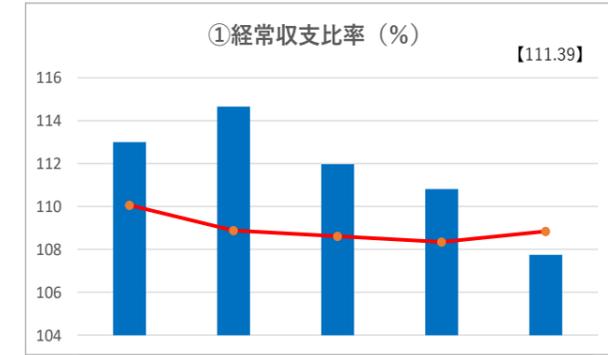
経営比較分析表（令和3年度決算）

滋賀県 米原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.10	99.66	2,926	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,136	250.39	152.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
27,681	60.48	457.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和3年度全国平均



分析欄

● 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は全国平均および類似団体平均を下回っており、料金回収率も100%未満であることから適切な料金収入確保のための経営改善が必要な状態です。
- ③ 流動比率は流動負債が減少したことから全国平均および類似団体平均を上回りました。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、全国平均および類似団体平均と比較すると平均値を上回っていることから、事業費の財源を企業債に依存している状況です。
- ⑤ 料金回収率は100%を下回り、全国平均および類似団体平均も下回る状態です。給水収益以外の収入に依存している状態であるため、適切な料金収入確保のための経営改善が必要です。
- ⑥ 給水原価は類似団体平均より低い状態ではありませんが、大規模な施設・設備更新等の影響で年々増加傾向にあり、今後も経常費用増加による給水原価の上昇が見込まれます。そのため、当該指標の動向に留意した上で、投資の効率化などの経営改善を図っていく必要があります。
- ⑦ 施設利用率は全国平均および類似団体平均よりも低いことから、施設の効率的な利用の検討が必要です。
- ⑧ 有収率は全国平均および類似団体平均を下回っていることから、有収率向上のために、継続的な漏水調査や老朽化管路の更新を行っていく必要があります。

● 全体総括

今後は、施設の改修・更新に伴い多額の費用を要する一方で、人口減少による給水収益の減少が懸念されることから、本市を取り巻く経営環境は、依然厳しい状況にあるといえます。

また、経常収支比率は比較的高い水準で推移していますが、管路更新率は低いことから、必要な更新に向けた投資ができていないと分析できます。

今後は、大規模な施設改修を行いながら、今まで以上に計画的な管路更新を実施していく必要があります。